

退職して10年目を迎え、思うこと

退職して10年目を迎え、5月の本支部総会に久しぶりに参加しました。会場に入ると、かつての同業者が醸し出す雰囲気、なぜか大変懐かしく穏やかに感じられました。

私は、退職後、某教育委員会で約3年間、義務教育学校設立を目指し、準備に奔走しましたが、残念ながら中止になってしまいました。その後、NPO法人の障がいのある成人のための就労支援施設（B型）に2年間勤務し、そして、地域づくりを目指す地区のコミュニティセンターの仕事をしながら、某社団法人で約6年間、不登校児童生徒、高校中退者、障がいのある児童生徒、家庭環境に恵まれない児童生徒など、個々に支援を必要とする子どもたちや保護者の支援に当たってきました。また、退職後3年目には、自宅が隣家からの延焼により全焼するという火災にも遭いました。現在は、地区の農業団体や米、野菜作りの仕事をしています。

この10年間、余裕を感じることなくあっという間に時間が過ぎてしまいました。今まで本支部での活動が少ない私が、重責である副支部長として務めることは、とても気が引けますが、退職してからの経験をもとに、2つ思うことを述べます。

1つ目は、歳だからと諦めないで（私は、膝痛と肩痛に苦しんでいます）、楽しいことや好きなことを、本支部で同じ雰囲気をもつ皆さんと一緒にやれたらよいのではないかと考えています。歳をとっても好きなことや楽しいことに無理のない範囲で挑戦することは、新たなつながりを感じさせてくれるものと思います。

2つ目は、皆さんのもっている専門職としての様々な経験や知恵を、子どもたちや保護者のためにもっと役立ててはどうかとも思います。皆さんの様々な経験や知恵は、貴重な宝だと思います。その経験や知恵を、できる範囲の中で無理なく、支援を待っている子どもたちや保護者のために役立てられたらと願っています。

終わりになりますが、退職校長会両沼支部のために、目黒支部長さんを中心に、「みんなで知恵を出し、みんなで汗を流し、みんな楽しく」をモットーに、微力ながら笑顔で頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

副支部長 関本 良

スポーツの秋、親睦健康活動を実施!!

10月18日（土）13名の参加を得て、ボウルサンシャイン会津若松店において、ボーリングを楽しみました。

3～4名で1グループとなり、1人2ゲームを行い、トータルを競いました。ン十年ぶりのボーリングのため、しばらく感覚がつかめず苦労する方、昔取った杵柄か、年齢を感じさせないフォームに皆を驚かせる方など、久しぶりのボーリングの1投1投に笑いや歓声が上がっていました。

結果は以下のとおりです。

第1位 関本 良 氏 第2位 井上佳彦 氏 第3位 泉 光洋 氏
ブービーメカ 常法寺 萬人 氏

次年度も、親睦を深めながら健康増進を図る活動を推進していきたいと思ひます。



クラブ活動報告

ゴルフクラブ RTK（両沼退職校長会ゴルフクラブ；あるってけい！）

今年度の退職校長会ゴルフコンペは、10月15日（水）太平洋白河リゾートで開催しました。晴天微風（スコアに例えれば70台、皆さんなかなかそこまではたどり着けませんでした。が・・・）のもと参加者全員が一日気持ちよくラウンドすることができました。

今回からシニアティーデビューの方々も多く、ゴルフはまさに生涯スポーツだと感じさせられました。来年度もボールを追いかけながら「あるってけい！」を合い言葉に、自然の中を歩きながら、会員同士の親睦を深めていきたいと思しますので、多くの皆様の参加をお待ちしております。

コンペ結果 第1位 泉 光洋 氏
第2位 深谷哲三 氏
第3位 北館長一 氏



囲碁クラブ

今年度の囲碁クラブは、7月24日（木）じげんプラザにおいて午前10時より5名の参加を得て実施しました。

久しぶりの囲碁を楽しみました。是非、新入会員の加入を歓迎しています。

7月の結果 第1位 記虎靖之 氏
第2位 三星和夫 氏
第3位 児島 厚 氏



第2回「山歩き+温泉」実施

今年度発足した（仮称）山歩き+温泉同好会は、2回目を10月3日（金）に、場所を一切経山と沼尻温泉で実施しました。

絶好の秋晴れの中、会津から浄土平までの道のりも一足早い「紅葉鑑賞ドライブ」で楽しみ、一切経山までの登山もゆっくりと楽しみ、山頂では魔女の瞳を眺めながら、おいしい昼食を食べました。そして、下山後は、お約束の温泉。疲れを癒やしました。



支部長会議報告 11月14日開催

協議題は、令和8年度西白河大会（6月11日）、活動重点、予算等。

研修では、会員勧誘の状況調査結果から今後の在り方、県大会の在り方について情報交換。校長を役職定年後、多様な選択肢のある現在、一人一人の状況を踏まえたきめ細やかな対応が必要（両沼支部でも）、県大会については「毎年、100人程度で、16地区がその特色を生かした」運営を、という提案がありました。検討課題です。ご意見をお寄せください。

令和7年度ふくしま絆ふれあい支援事業「ふくしまを十七字で奏でよう」選考委員 御礼

上記事業も県の風物詩となりましたが、今年も12月上旬に結果が発表される予定です。

本審査会には、本支部より、林 靖子先生、齋藤 聖先生、菊地正人先生の3名が選考委員を務めていただきました。お忙しい中、ありがとうございました。